



記録・報告の匿名化と守秘義務について

特定非営利活動法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会の研修や検討会、勉強会は対人援助・スピリチュアルケアが実践できる援助者を養成するための研修です。受講者の皆様が現場で対人援助・スピリチュアルケアが実践できるようになるためには理論だけでなく演習と実習で学ぶ必要があります。その具体的な学習方法として、各自の臨床での実践記録である「会話記録」やレポートの作成とさまざまな実践の報告、添削、講読などを行います。

ただし、臨床現場の記録・報告は関係当事者の個人情報が含まれることがあり、各受講者はその情報の守秘と保持には十分な配慮が求められます。例えば氏名、施設名、日時など個人を特定できる情報は必ず匿名化して記録いただくよう取り決め、研修時に説明させていただいております。

加えて、講読などで使用した課題レポートや会話記録などは本研修以外では使用しないとともに、紛失、流出しないように、課題提出時の誤送がないように受講者が責任を持って管理してください。

また、研修中の他の受講者の発言についても守秘義務の対象となりますので他言することや、研修や勉強会の録画、録音、撮影はいかなる理由でも禁じます。

以上の守秘義務について同意していただけたら、誓約書に署名をお願いいたします。

なお、この誓約書は2024年度中、有効とします。年度中に初めて受ける研修の申し込み時にご提出ください。

特定非営利活動法人

対人援助・スピリチュアルケア研究会

理事長 的場康徳

2024年4月1日から2025年3月31日まで有効



誓約書

特定非営利活動法人

対人援助・スピリチュアルケア研究会 理事長 殿

特定非営利活動法人対人援助・スピリチュアルケア研究会が実施する研修や、セミナー、勉強会を受講するにあたり、研修上得られた個人情報については守秘義務を厳守するとともに、本研修参加者以外に流出しないよう責任を持って管理し、その情報を私用で用いることや、他に流用すること、並びに研修会の録画、録音、撮影は一切しないと誓います。

また、情報の管理上、何か問題が生じた場合には、その責任を負うことを誓約します。

年 月 日

現住所：〒

氏 名：

提出の手順

- 1、この誓約書をプリントアウトします。
- 2、必ず自筆で記入してください。(押印は不要です)
- 3、住所は所属施設・機関名ではなく、個人住所を記入してください。
- 4、PDF か写真データにし、申し込みフォームに添付してください。
(フォームに添付できない場合は、entry@sp-c.orgにお送りください。)
- 5、今年度中、すでに他の研修において提出された方は提出不要です。

2024年4月1日から2025年3月31日まで有効